令和５年度事故危険区間リストの概要

□限られた予算の中、事故対策への投資効率を最大限高めるため、本会議による意見等を踏まえ、「事故危険区間リスト」に基づく選択と集中による計画的、効率的な交通安全対策事業を実施

福岡県　事故危険区間リストに基づく交通安全対策事業の流れ

Stage 1

事故の危険性が高い区間を明確化
（事故データ，地域の声等）

Stage 2

事故危険区間リストを特定

意見

福岡県道路交通環境安全推進連絡会議（第三者委員会）

自治体（住民代表）からの指摘
地域からの安全性危惧の指摘

事故危険区間リスト 公表

Stage 3

事故原因に即した効果の高い対策を立案
〔緊急性〕と〔妥当性〕

Stage 4

対策着手
（交通安全施設整備事業　1種，2種）

Stage 5

完了後の効果を評価

毎年度見直し

マネジメントサイクルで改善

事故危険区間の抽出方法

必要な区間 事故対策が

安全（事故データ）

○事故危険箇所との整合

○死亡リスクが大きい
- 死傷事故率
- 死傷事故件数
- 重傷事故件数

安心（要望等）

○対策必要性の検証
- 潜在的な事故ﾘｽｸ（ETC2.0データ）
- 事故増加箇所

等

必要な区間 歩道整備が

○要望箇所の対策必要性の検証
- 横断構成
- 通学路指定
- 利用交通量
- 周辺施設の立地状況
- 歩道整備で回避可能な事故の発生状況

等

整備が必要な区間 自転車利用環境

○要望箇所の対策必要性の検証
- 自転車ネットワーク計画との整合
- 横断構成
- 通学路指定
- 利用交通量
- 自転車ネットワーク特性
- 自転車関連事故の発生状況

等

福岡県内直轄国道において、効率的に交通安全事業を進めるために優先的に実施すべき区間
事故危険区間リスト（ロングリスト）